

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	Y I Cビューティモード専門学校
設置者名	学校法人Y I C学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	11単位	7単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	Y I Cビューティモード専門学校
設置者名	学校法人Y I C学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上 <https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/> に公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	2025/5/22 ～ 2029/ 定 時理事・評 議員会まで	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
非常勤	学校法人龍馬学園 理事長	2025/5/22 ～ 2029/ 定 時理事・評 議員会まで	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	Y I C ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 Y I C 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 美容師養成施設指定規則(1条～18条)を遵守の上、法定単位(67単位)以上の美容師養成施設必須課目、美容師養成施設選択課目を要し、当校では授業を講義・演習の2つの履修方法に分けている。 講義としては美容師養成施設必須課目(国家試験筆記科目)・美容師養成施設選択課目「一般教養課目」(美容師に特化したビューティビジネス実務検定、パーソナルカラリスト検定3級、ヘアケアマイスタープライマリー検定)の座学中心の科目を行い、演習としては、美容師養成施設必須課目の実習(国家試験実技科目を含む)・「専門教育課目」(ヘアデザイン・カラー・フォト・ヘアアレンジ・アイラッシュ・ブライダル・エステ・メイク総合基礎・総合実習・インターンシップ)といった実技を伴う科目で構成している。 専門技能を習得し、美容師国家資格取得を最大の目標とする。 また、年2回(前期末と後期末)の教育課程編成委員会において美容業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作成したシラバスを毎年3月上旬にホームページ上にて公表している。	
授業計画書の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習意欲について、各科目に（課目）において、所定の時間数、欠課時間数を集計し、出席率を計算する。 ・出席率80.0%以上で本試験受験可能。 ・出席率80.0%未満かつ66.7%以上で80.0%を超える時間数の補講を受講完了した後、再受験可能。 ・出席率66.7%未満は該当科目は未履修、救済処置はない。 試験は前、後期各1回実施（実習に関する評価は、課題の出来栄等考慮し、数値化する） また、校内、外コンテスト等の結果を取り組む姿勢、意欲の観点で評価する。校外学習、ボランティア等はレポート提出を求める。これらを総合的に評価し、単位認定とする。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 以下のGPA制度を設定し、ホームページ上にて公表。 ① GP（グレード・ポイント、重み）は、秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。 ② GPA（グレード・ポイント・アベレージ）は、次の式により計算するものとし、小数点第2位を四捨五入し、第1位まで表示する。 $GPA = \frac{\sum (\text{各科目のGP} \times \text{その科目の単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$ 各授業のシラバスにおける成績評価方法に従い成績評価を実施。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表	

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定し、ホームページ上にて公表 卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしている者は、卒業判定会議を経て校長が卒業を認定する。 a. 学科コース学年別の教育課程表記載している卒業要件を満たしている。 b. 当該年次の校納金（学費・教材費等）が納められている。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ上 https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ に公表

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	Y I C ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人 Y I C 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
収支計算書又は損益計算書	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
財産目録	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
事業報告書	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure
監事による監査報告（書）	https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生分野		専門課程		美容学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	67 単位		21 単位	44 単位	2 単位	0 単位	0 単位	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
120 人		115 人	0 人	5 人		17 人		23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 美容師養成施設指定規則（1 条～18 条）を遵守の上、授業計画及び法定単位（6 7 単位）以上の美容師養成施設必須課目、美容師養成施設選択課目を要し、美容師国家資格取得を最大の目標とし、専門技能習得を目指す。 取得内容、達成目標等は、ホームページにおいて全シラバスを参照すること。 また年 2 回の教育課程編成委員会において当該業界・企業・団体の外部委員の方からの意見を参考に授業計画を策定し、それを基に作ったシラバスをホームページ上にて公表している。

成績評価の基準・方法

(概要)

- ① 成績評価は、試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポート、出席状況、授業態度により総合的に評価する。
- ② 評価結果は、秀、優、良、可、不可の5段階とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
- ③ 年度末に通年の評価結果の一覧を成績表として、保証人に送付する。
- ④ 就職活動などで成績証明書の必要な場合、各期末終了日前に、受講中の教科科目について中間評価を行うことがある。その際、確認テストや模擬テスト、レポート、出席状況等をもとに評価を行う。

判定	評価点	成績	G P	成績評価内容
合格	100～90点	秀	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	89～80点	優	3	到達目標を十分に達成している
	79～70点	良	2	到達目標を達成している
	69～60点	可	1	到達目標を最低限達成している
不合格	59点以下	不可	0	到達目標を達成していない
未履修	—		0	受講したが出席不良などにより単位を取得できなかった
認定	—		対象外	他の高等教育機関で修得した単位、校長が認めた特別単位

G P A (グレード・ポイント・アベレージ) 制度について

- ① G P (グレード・ポイント、重み) は、秀、優、良、可、不可評価の各評価に対し、4、3、2、1、0の順に付与する。
- ② G P A (グレード・ポイント・アベレージ) は、次の式により計算するものとし、小数点第2位を四捨五入し、第1位まで表示する。

$$G P A = \frac{\sum (\text{各科目の} G P \times \text{その科目の単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

「秀」評価の単位数＝3，「優」評価の単位数＝5，「良」評価の単位数＝4，
「可」評価の単位数＝6

$G P A = (4 \times \text{「秀」評価の単位数} + 3 \times \text{「優」評価の単位数} + 2 \times \text{「良」評価の単位数} + 1 \times \text{「可」評価の単位数} + 0 \times \text{「不可」評価の単位数}) \div \text{総履修登録単位数}$

$$((4 \times 3) + (3 \times 5) + (2 \times 4) + (1 \times 6)) \div 18 = 2.277777$$

「2.3」がG P Aとなります。

- ③ 学年G P A 学年毎に算出されるG P Aをいう。
- ④ 通算G P A 在学中の全学期を通じて算出されるG P Aをいう。
- ⑤ 学年G P Aや通算G P Aは、学内における評価や就職活動に使用することがある。

卒業・進級の認定基準			
(概要) 学校関係者評価委員会および教育課程評価委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。 ① 進級要件 年度末において次の要件すべて満たしている者は、進級判定会議を経て校長が進級を認定する。 a. 学科コース学年別の教育課程表記載している進級要件を満たしている。 b. 当該年次の校納金（学費・教材費等）が納められている。 ② 卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべて満たしている者は、卒業判定会議を経て校長が卒業を認定する。 a. 学科コース学年別の教育課程表記載している卒業要件を満たしている。 b. 当該年次の校納金（学費・教材費等）が納められている。			
学修支援等			
(概要) クラス担任だけでなく就職に関してはキャリアサポート室職員による支援があり、悩みや課題の相談窓口としては学生支援係がある。 費用面のサポートとして、一人暮らしの学生（公共交通機関を利用した場合、おおむね1時間30分以上かかる場合）にはひとり暮らしサポート制度（毎月5000円支給）がある。 ただし以下の学生がひとり暮らしサポート制度を利用する場合は金額が異なる。 隣県（広島、福岡、島根）からの入学者⇒毎月1万円支給 その他の都道府県からの入学者⇒毎月2万円支給 学習面のサポートとして自習、復習利用時、ホームルーム教室、メイク実習室、シャンプー実習室、図書室等、平日8:30～18:00 土曜日8:30～13:00まで開放。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100%)	0人 (0%)	47人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室、美容業、エステティシャン、エステ業、アイリスト、ネイリスト、美容部員、ブライダル業、貸衣装業、写真館など			
(就職指導内容) 就職実務授業、企業説明会、各地相談会参加、面接指導・対策、実技試験対策など			

(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格、日本ビューティビジネス実務検定、JMA メイクアップ 3 級・2 級検定、JNEC ネイリスト検定 3 級、JNA ジェルネイル検定初級、ヘアケアマイスタープライマリー検定、パーソナルカラリスト検定 3 級・2 級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110 人	6 人	5%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保証人面談、キャリアサポート室キャリアカウンセラー面談等を行い、当事者の根幹の悩みの解決に努める		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
美容学科	150,000 円	770,000 円	340,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 専門学校の実践的な職業教育の質を確保するため、学校関係者評価委員の方と当校教職員が、学校自己点検・自己評価結果、在校生・卒業生・卒業生の職場の上司へのアンケート結果に基づき、学校の管理運営について議題とし意見交換を行う。 学校評価委員会は、原則として年2回開催する。 学校経営改善に向けての努力点（＝自己評価項目）として、以下に示す10の大項目を設定し、さらに、各項目に対応する複数のチェック項目（記載-略）を設定した。教職員（学校）は、これらの実現・適正化に努め、その結果を検証し、一層の学校改善を進めるものとする。(PDCA) 1) 主な評価項目 (1) 教育理念・目的・目標 (2) 教育課程、教育の実施、学修成果 (3) 学生の受入れ学生支援 (4) 教育実施組織・教員 (5) 教育環境 (6) 教育活動の基盤と改善・向上の取組 <評価結果の活用方法（評価結果を踏まえた改善方法の実施時期及び責任者）> 評価結果については、副校長を責任者として検証会議を開き、重点的な課題として改善策を策定し、月毎に達成状況の点検を行いながら適正化を図る。 <点検項目の評価> 評価は（A：適切である B：概ね適切である C：やや適切である D：適切でない）の4段階で行う。 学校自己評価委員会で取りまとめた自己評価結果は関係資料とともに学校関係者評価委員会に提出し、学校評価（A～D4段階）を受ける。各評価項目に対する評価結果及び改善意見に基づき、次年度に向けて、学校運営・教育活動の内容・学生支援体制等を見直し、新たな学校改善計画を策定（～3月末）・実施（4月初-学校経営方針とし

て定め、周知・徹底) する。 2) 評価委員会の構成 委員の定数：5 名以上 委員の選出区分：企業 2 名、職能団体 1 名、高等学校 1 名、保護者 1 名、卒業生 1 名 なお、学校関係者評価は、理事会へ提出・承認後、ホームページにて公開するものとする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
スタート美容室	2026 年 4 月～2028 年 3 月	企業関係者
株式会社 ライブス	2026 年 4 月～2028 年 3 月	企業関係者
有限会社 美髪 山口県美容業衛生同業組合	2026 年 4 月～2028 年 3 月	職能団体
学校法人山口高川学園 高川学園高等学校	2026 年 4 月～2028 年 3 月	高校関係者
保護者代表	2026 年 4 月～2028 年 3 月	美容学科学生 保護者
卒業生代表	2026 年 4 月～2028 年 3 月	美容学科卒業生
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/		
(備考)		
第三者評価が未実施。第三者評価を令和 13 年 4 月以降に実施予定。現在は学校関係者評価にて代替。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/